

♪ 2021年度 **poco a poco** ♪

Nr. 8 2021年7月1日(木) 文責:プファイル・辰巳

### 何か月ぶりだろう…?

6月12日の土曜日のことです。久しぶりに演奏会に足を運びました。演奏会といっても、土曜日の昼間に開催される小1時間ほどのパイプオルガンコンサートです。

月1回定期的に開催されていたのですが、コロナの関係で休止していました。6月から再開されると知り、いそいそと出かけました。

抗原テスト結果の提示、マスクの着用、連絡先の記入などコロナ感染対策は徹底しています。客席もグッと減らされ、お隣との間隔も十分取られていました。それでも、チラホラと常連さんのお顔が見えると、うれしい気分になりました。私は、演奏台の見える2階のお気に入りの席を確保。窓ガラスの向こうで風にそよぐ木々の緑を眺めながら、久しぶりにオルガンの音色を楽しみました。CDでもなく、ラジオでもなく、生で聴く音楽。その充実感をあらためてかみしめることのできたひと時でした。



#### ちょっとだけ 演奏会情報

Bad Homburg : Schlosskirche (城教会)

Orgelmatinee お昼のオルガンコンサート

日時 : 毎月 第2土曜日 午前 11時30分から

場所 : Schlosskirche, 61348 Bad Homburg

内容 : 45分程度のパイプオルガンの演奏

席 : 自由 ※入場は無料。出口募金があります。

### 音楽こぼれ話 <楽譜出版のお話 ⑥>

もうひとつのクマちゃんマーク

## Bärenreiter-Verlag>

ドイツの老舗出版社のお話に戻ります。ブライトコプフ & ヘルテル社のロゴマークもクマちゃんでしたが、今日ご紹介する Bärenreiter-Verlag (ベーレンライター社)の



ロゴも星付きのクマちゃんです。Bär がクマですから、当然といえば当然ですね。クマちゃんの上に輝く星は、創業者のあこがれや目標を象徴しているそうです。

ベーレンライター社は1923年に南ドイツのアウグスブルグで起業され、1927年からは本拠地をヘッセン州カッセルへと移されました。

起業されて以来、100年近くの歴史を持つベーレンライター社ですが、ペータース社などの他の老舗に比べるとやや遅めのスタートとなりました。その頃には、大作曲家たちの著作権はライプツィヒの音楽出版社にほぼ押さえられた形になっていました。

そこで、ベーレンライター社は、リコーダーやパイプオルガンなどを中心に、青少年向けの楽譜を出版することに力を入れました。

また同時代の作曲家ではなく、古い時代の作曲家たちの全作品を「全集」という形で出版することにも重点を置くようにしました。バッハやヘンデルの全集が出版されたことで、ベーレンライター社は後出の音楽出版社の中で一挙に躍進しました。特に、可能な限り忠実に作曲家の意図を再現して作成される原典版(Urtext Edition)の出版には、現在でも定評があります。原典版では、後年の演奏家による解釈で速度や強弱記号などが書き加えられることはなく、作曲家の残した遺稿が尊重されています。

ベーレンライター社は楽譜だけではなく、音楽関係の雑誌や書籍出版にも積極的でした。メッツラー社という書籍出版会社と共同出版した音楽事典 MGG (Musik in Geschichte und Gegenwart : 音楽の歴史と現在) や作曲家年鑑などは有名です。

本拠地は現在もカッセルにあり、バーゼル、ロンドン、ニューヨーク、プラハにも支店を置くようになりました。

現代音楽の作曲家たちの出版にも力を入れるようになり、ドイツ音楽出版社の一つとして、世界中で周知されています。

